



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月27日

上場会社名 CKD株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舟橋 典孝 (TEL) 0568-74-1006
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	66,683	4.7	6,129	9.6	6,285	11.7	4,408	17.5
28年3月期第3四半期	63,709	4.1	5,595	△1.7	5,629	△5.0	3,752	△4.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,732百万円 (6.3%) 28年3月期第3四半期 3,509百万円 (△29.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	71.20	—
28年3月期第3四半期	60.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	99,281	68,471	69.0
28年3月期	96,412	66,419	68.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 68,471百万円 28年3月期 66,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
29年3月期	—	14.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,500	3.8	9,200	13.5	9,300	14.9	6,500	19.1	104.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	68,909,449株	28年3月期	68,909,449株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	6,992,657株	28年3月期	6,992,315株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	61,917,012株	28年3月期3Q	62,082,695株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
〔生産、受注及び販売の状況〕	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策効果に加え、電子部品や自動車部品などのアジア向け輸出の増加により緩やかに持ち直しました。企業収益も底堅く推移したことにより、設備投資も更新・維持を目的とした投資に、合理化・省力化への投資も加わり、堅調に推移いたしました。

また、海外経済は、米国では雇用や所得の改善による個人消費の増加や企業収益の改善、欧州では金融緩和策や新興国の景気回復などから、ともに底堅く推移いたしました。中国では、減速感はあるものの、公共投資の拡大や小型車減税措置などの政策により、経済成長を維持しております。

このような状況のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高66,683百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益6,129百万円（前年同四半期比9.6%増）、経常利益6,285百万円（前年同四半期比11.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,408百万円（前年同四半期比17.5%増）となりました。

なお、前連結会計年度については、海外連結子会社5社の決算日を連結決算日に変更したことに伴い、前第3四半期連結累計期間は12か月となっております。この決算期変更に伴う影響を除いた前第3四半期連結累計期間との比較では、売上高は前年同四半期比9.9%増、営業利益は前年同四半期比12.6%増、経常利益は前年同四半期比14.5%増、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比20.3%増となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

自動包装システムでは、ジェネリック医薬品の普及促進目標引き上げに伴う設備投資により売上が増加いたしました。

産業機械では、三次元はんだ印刷検査機は電子化が進む車載用やLED照明用の基板向け、リチウムイオン電池製造システムは環境対応車両向けでそれぞれ売上が増加いたしました。

その結果、売上高は11,920百万円（前年同四半期比17.3%増）、セグメント利益は1,226百万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。

② 機器部門

国内市場では、微細化やメモリーへの投資が続く半導体製造装置向け及び二次電池製造装置向けなどの売上が増加いたしました。海外市場では、半導体の設備投資が好調な地域の売上が増加いたしました。

その結果、売上高は54,762百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益は7,669百万円（前年同四半期比18.6%増）となりました。

なお、決算期変更に伴う影響を除いた前第3四半期連結累計期間との比較では、売上高は前年同四半期比8.4%増、セグメント利益は前年同四半期比21.5%増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,869百万円増加の99,281百万円となりました。これは主に、現金及び預金、売上債権並びにたな卸資産が増加したものの、有価証券、有形固定資産及び投資有価証券が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ817百万円増加の30,810百万円となりました。これは主に、仕入債務、賞与引当金、前受金及び預り金が増加したものの、未払法人税等、設備未払金及び未払従業員賞与が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,051百万円増加の68,471百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント増加の69.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内外経済は、米国新政権の経済政策、英国の欧州連合からの離脱、中国の景気減速などに注視していく必要がございますが、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績を踏まえ、平成28年10月28日に発表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり上方修正いたしました。なお、平成29年1月1日から平成29年3月31日までの期間における為替レートは1米ドル110円を前提としております。

平成29年3月期 通期 連結業績予想数値の修正
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 89,700	百万円 8,500	百万円 8,400	百万円 5,700
今回修正予想 (B)	91,500	9,200	9,300	6,500
増減額 (B - A)	1,800	700	900	800
増減率 (%)	2.0	8.2	10.7	14.0
(参考) 前期実績 (平成28年3月期)	88,117	8,107	8,094	5,459

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日（平成29年1月27日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第3四半期連結会計期間において、重要性が増したためCKD Europe B.V. を連結の範囲に含めておりますが、特定子会社には該当しません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,951	10,537
受取手形及び売掛金	21,186	20,203
電子記録債権	1,905	4,871
営業未収入金	1,150	306
有価証券	2,000	1,000
商品及び製品	4,673	5,790
仕掛品	3,669	4,240
原材料及び貯蔵品	12,178	13,232
その他	2,358	2,410
貸倒引当金	△103	△99
流動資産合計	58,969	62,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,304	11,691
その他(純額)	15,408	15,402
有形固定資産合計	27,712	27,093
無形固定資産	755	1,429
投資その他の資産	8,974	8,266
固定資産合計	37,442	36,789
資産合計	96,412	99,281
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,873	12,346
電子記録債務	920	1,241
短期借入金	1,671	1,506
未払法人税等	1,463	1,014
賞与引当金	178	1,147
その他の引当金	225	369
その他	7,319	7,378
流動負債合計	23,652	25,004
固定負債		
長期借入金	2,720	2,375
その他の引当金	76	75
退職給付に係る負債	226	251
その他	3,316	3,103
固定負債合計	6,339	5,805
負債合計	29,992	30,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,372	12,372
利益剰余金	44,445	47,173
自己株式	△4,905	△4,905
株主資本合計	62,929	65,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,105	2,575
為替換算調整勘定	1,808	1,540
退職給付に係る調整累計額	△1,423	△1,300
その他の包括利益累計額合計	3,490	2,814
純資産合計	66,419	68,471
負債純資産合計	96,412	99,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	63,709	66,683
売上原価	43,741	46,496
売上総利益	19,967	20,187
販売費及び一般管理費	14,372	14,057
営業利益	5,595	6,129
営業外収益		
受取利息	31	19
受取配当金	114	115
その他	208	259
営業外収益合計	354	394
営業外費用		
支払利息	37	29
売上割引	105	106
為替差損	133	35
その他	43	67
営業外費用合計	319	238
経常利益	5,629	6,285
特別利益		
固定資産売却益	126	3
投資有価証券売却益	35	182
補助金収入	66	55
特別利益合計	228	241
特別損失		
固定資産売却損	8	4
固定資産除却損	94	16
固定資産圧縮損	—	54
環境対策費	83	—
特別損失合計	185	75
税金等調整前四半期純利益	5,671	6,450
法人税、住民税及び事業税	1,311	1,978
法人税等調整額	607	63
法人税等合計	1,919	2,042
四半期純利益	3,752	4,408
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,752	4,408

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	3,752	4,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	712	△530
為替換算調整勘定	△837	△267
退職給付に係る調整額	△117	122
その他の包括利益合計	△242	△675
四半期包括利益	3,509	3,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,509	3,732
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,161	53,547	63,709	—	63,709
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	68	68	△68	—
計	10,161	53,616	63,778	△68	63,709
セグメント利益	1,316	6,464	7,781	△2,186	5,595

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,186百万円には、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,210百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった在外子会社(5社)については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行ってまいりましたが、CKD THAI CORPORATION LTD.、CKD USA CORPORATION、M-CKD PRECISION SDN. BHD.については決算日を3月31日に変更し、喜開理(中国)有限公司、喜開理(上海)機器有限公司については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。その結果、当第3四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年12月31日までの12か月間を連結しております。

なお、当該子会社の平成27年1月1日から平成27年3月31日までの売上高は機器部門で3,019百万円、セグメント利益は機器部門で149百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,920	54,762	66,683	—	66,683
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	72	72	△72	—
計	11,920	54,835	66,755	△72	66,683
セグメント利益	1,226	7,669	8,895	△2,765	6,129

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,765百万円には、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,790百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	13,597	+0.6
機器部門	54,547	+2.0
合計	68,145	+1.7

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	14,028	△0.7	13,244	+5.8

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	11,920	+17.3
機器部門	54,762	+2.3
合計	66,683	+4.7

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。